

宮城県感染症発生動向調査情報(第8週)

宮城県【平成27年02月26日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2015.2.16 ~ 2.22 ・ 第8週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第5週	第6週	第7週	第8週	
水痘		9 0.90	4 0.80				11 0.50	40 1.54	65 1.12	374	○→	○→	○→	○	
流行性耳下腺炎								8 0.31	8 0.14	53	→	→	→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	61 12.20	96 9.60	41 8.20	22 11.00	24 8.00	74 14.80	23 11.50	348 13.38	689 11.88	5,049	◎→	◎→	◎→	◎	
手足口病								1 0.04	1 0.02	70	→	→	→		
伝染性紅斑	3 0.60	4 0.40	7 1.40				2 1.00	31 1.19	47 0.81	475	◎→	◎→	レ→	○	
突発性発しん	1 0.20	6 0.60	3 0.60		2 0.67	2 0.40	1 0.50	11 0.42	26 0.45	209	○→	○→	○→	○	
ヘルパンギーナ						1 0.20		1 0.02	1	7	→	→	→		
インフルエンザ	82 10.25	113 7.53	48 6.00	13 4.33	27 5.40	95 11.88	64 16.00	266 6.33	708 7.61	16,590	◎→	◎→	◎→	◎	
咽頭結膜熱	1 0.20		2 0.40	3 1.50				10 0.38	16 0.28	92	→	→	→		
流行性角結膜炎		1 0.33						4 0.67	5 0.42	18	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24 4.80	31 3.10	3 0.60	4 2.00	3 1.00	31 6.20		103 3.96	199 3.43	1,121	◎→	◎→	◎→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	1 1.00								1 0.08	1	→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	2 2.00			4 4.00		7 0.58	59	→	→	→		
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症				2 1.00	1 0.33	3 0.60		6 0.23	12 0.21	266	○→	レ→	→		
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	4			1	1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向						
	川崎病							1	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/						
	不明発疹症							1							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			2		1	1	4	71						

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
- 2類感染症: 結核
 - 仙南管内 男性1名(第7週)
 - 塩釜管内 男性1名、女性1名(第3週)
 - 石巻管内 男性1名
 - 気仙沼管内 女性1名
 - 仙台管内 男性2名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: 後天性免疫不全症候群
 - 仙台管内 男性1名
- 侵袭性肺炎球菌感染症
 - 大崎管内 ※男児1名
 - 仙台管内 男性2名
- 梅毒
 - 仙台管内 男性1名
- 水痘(入院例)
 - 石巻管内 男性1名(第6週)
 - 仙台管内 ※女児1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 11例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- 【感染性胃腸炎】
仙南管内で警報継続中。
- 【インフルエンザ】
仙南、石巻、気仙沼管内で警報継続中。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】
石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

管内	第6週採取分	インフルエンザウイルスAH3	4件
登米管内	第7週採取分	インフルエンザウイルスAH3	1件
気仙沼管内	第6週採取分	インフルエンザウイルスAH3	4件
	第8週採取分	インフルエンザウイルスAH3	1件
塩釜管内	第8週採取分	インフルエンザウイルスAH3	1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第6週採取分 (2.2～2.8)	第7週採取分 (2.9～2.15)	第8週採取分 (2.16～2.22)
インフルエンザウイルスA(H3)	1件	0件	0件
ヒトメタニューモウイルス	0件	1件	0件
RSウイルス	0件	4件	0件
アデノウイルス	0件	0件	1件
単純ヘルペスウイルス	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2015年 第4週		19.6	35.4	21.3	3.2	3.0	5.9	4.1	2.8	2.1	1.1	1.4	3545
第5週		20.6	35.4	20.9	2.5	3.2	5.5	4.2	3.2	2.0	1.6	0.9	2786
第6週		20.0	33.6	23.0	3.0	2.2	5.5	4.8	2.7	2.7	1.5	1.1	1807
第7週		21.5	33.7	20.6	3.3	3.2	5.2	4.2	3.2	2.4	1.6	1.1	1080
第8週		18.4	36.0	21.4	3.0	3.9	5.6	4.3	2.6	2.0	1.6	1.2	708

インフルエンザ定点

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第6週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(35.86)、大分県(34.48)、鹿児島県(31.96)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は794例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(36例)、1～9歳(151例)、10代(33例)、20代(11例)、30代(18例)、40代(14例)、50代(23例)、60代(66例)、70代(131例)、80歳以上(311例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は1,885例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は第2週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(6.42)、石川県(4.69)、山形県(4.47)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では宮城県(14.10)、愛媛県(12.27)、福井県(11.05)が多い。**水痘**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(1.18)、石川県(1.03)、大分県(1.03)、佐賀県(1.00)が多い。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では石川県(1.38)、宮城県(1.00)、神奈川県(0.78)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は第3週以降減少が続いている。都道府県別では福島県(2.14)、富山県(1.20)、石川県(0.60)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は増加した。28都道府県から71例報告があり、年齢別では0歳(12例)、1～4歳(47例)、5～9歳(9例)、10代(2例)、20代(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数